

3月園だより

令和6年2月22日

February 22, 2024

園長 河合 晴美

Principal

Harumi Kawai

教育目標

- げんきな子
- よくかんがえる子
- なかよくする子



てをつなごう

園長 河合 晴美

梅の花が咲き、池にカエルが泳ぐ姿を子どもたちが見つけ、喜んでいます。幼稚園の春の訪れは、自然の変化を楽しむ嬉しい季節です。

今年度5歳児さくら組は、修了までのカウントダウンをする中で、改めて今できることを考えていきました。そして、やがてお別れとなる4歳児ばら組（3歳児りんご組）と一緒にやってみたいこと、年上として伝えておきたいことをいくつか挙げました。そして、毎日それらをやり遂げることの充実感を感じながら過ごしています。

その中では、自分たちが楽しんだソイヤの踊りやリレー、挑戦してできるようになったあやとりやなわとびなどを「一緒に楽しみたい」としています。ヒヤシンスの育て方や誕生会の司会などは、「教えてあげたい」ことに挙げられました。自分たちができることを次の学年につないでいく役割を果たしています。さくら組の姿はいつでもりんご組、ばら組にとって大きなモデルであり、憧れの存在です。その姿を追いかけながら、ばら組やりんご組は大きく成長していきます。

また、南山幼稚園では、代々歌い継いでいく曲を決めています。4歳児は、『こどもがいっぱいわらってる』（作詞/作曲 村下孝蔵 編曲小野崎孝輔）という歌を取り上げています。歌詞には、「♪いろんなくにからきた ちいさなてんしが わになりあそんでる ぼくらのくに」とあり、まさに南山幼稚園の様子を表しています。5歳児は、今年度から『てをつなごう』（作詞/作曲 槇原敬之 編曲服田祐生子）にしました。「♪てをつなごう てをつないだときのほうが ちからがわいてくるよ やさしいきもちになるよ・・・だいすきなともだちが せかいじゅうにいるなら このちきゅうは なんてすてきなばしょだろう・・・」という歌詞がこれから生きるみんなへ、心もつながるエールとして届くことを望んでいます。

幼稚園で共に過ごした日々は、私たちにとっても、かけがえのない日々であり、大切な一人ひとりの表情や動き、表したこと全てが尊い宝物です。3月15日に修了する25人のさくら組さん、おめでとうございます。子どもたちそれぞれにある力と可能性は、この先も大きく花開くと思います。そして、優しさと自信とともに新しい一步を踏みだしてほしいと思います。

保護者の皆さま、地域の皆さま、一年間御支援、御協力をいただきまして誠にありがとうございました。



<カエルさ〜ん!おいで!>



<さくら組からばら組へ>